

2021年 9月

～第88号～

夏休み企画『夏休み自由研究講座』を開催しました

資料館では、7月31日(土)に『夏休み自由研究講座～イタイタイ病の学習と酸性雨の水質調査～』を開催しました。

小学5～6年生とその保護者を対象に、密集を避けて午前と午後の2回に分けて実施したところ、各8組合わせて16組33名が参加されました。

前半は、ガイダンス映像を視聴した後に、資料館展示室で職員による解説を聞き、イタイタイ病の被害とその克服の歴史を学びました。

参加者は職員の解説に熱心に耳を傾けていました。



～展示室解説～

後半は、立山環境研究所 薬学博士 朴木英治氏を講師として、酸性雨の水質を調べる実験を行いました。

初めに、大気汚染の原因や、酸性雨・酸性雪が降るしくみ、それらが環境に及ぼす影響についての講義を受けてから、実際に試薬を用いて同地点で約2か月の間の複数期間に採取された雨水の酸性度(pH)を調べました。

参加者は、試薬の扱いに苦労しながらも、講師や職員の補助のもと真剣に実験に取り組んでいました。実験後には、同地点の雨水でも、降水期間が異なるとpHも異なるという結果に講義の内容も合わせ、日々の人間の活動が自然にも影響を及ぼすことや、環境を守ることの大切さを学びました。



～『酸性雨の水質を調べよう』～

『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』を開催します

10月9日(土)13時30分より、資料館2階 交流学習ルームにおいて、『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』を開催します。

集いでは、イタイタイ病資料館を主会場に、水俣市立水俣病資料館、新潟県立環境と人間のふれあい館、四日市公害と環境未来館の3館をオンラインでつなぎ、各資料館の語り部の方にそれぞれの地域で発生した公害病について語っていただきます。

また、後半の意見交換会では、公害の被害や克服の歴史をいかに後世に伝えていくかを4人の語り部の方とともに考えます。

参加は無料ですが、事前申し込みが必要です。今回はオンライン会議ツール zoomでの参加も可能です。10月6日(水)までに、案内チラシ裏面の申込書に必要事項を記入の上ファックス、またはハガキ(必着)、資料館ホームページの申込フォームにてお申し込みください。ただし、会場・ウェブ参加どちらも先着順により、各定員(30名)になり次第申し込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

四大公害病の語り部の講話が一度に聴ける貴重な機会です。

皆様のご参加をお待ちしております。

詳しい内容や申込方法は資料館ホームページをご覧ください。

「資料館ホームページ」

(URL : <https://www.pref.toyama.jp/1291/kurashi/kenkou/iryu/1291/index.html>)